

帝京大学大学院・社会医学系専門医プログラム

「帝京大学大学院・社会医学系専門医プログラム」は、学位（公衆衛生修士・博士、医学博士）の取得をめざしなら、社会医学系専門医の研修を行うプログラムです。産業保健、行政・地域、臨床研究等の社会医学系の分野で活躍する医師を育成します。

社会医学系専門医制度とは？

日本公衆衛生学会、日本産業衛生学会など、社会医学関連の学会等11団体からなる「社会医学系専門医協議会」による専門医制度です。行政・地域、産業保健、臨床研究等の分野で活躍できる専門性を持った医師の育成を目的に、平成29年4月より専攻が開始される予定です。

プログラムの概要

社会医学系専門医 (3年以上の研修)

基本プログラム
7科目49時間以上

実践現場研修
総括的な課題および
各論的な課題の経験

学位
公衆衛生学修士・博士
医学博士

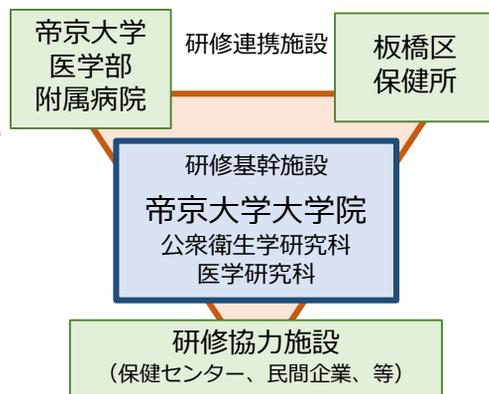
社会医学系専門医研修では、7科目49時間以上の基本プログラム（授業）が義務付けられています。帝京大学プログラムでは、主に公衆衛生学研究科の科目を履修することで、基本プログラムを修了することができます。

産業・衛生、行政・地域、医療のいずれか1つを主分野に、その他の2つを副分野として、現場での学習・実践により、総括的な課題と各論的な課題（3項目以上）を経験します。大学・医学部附属病院、保健所、協力企業等で、産業医や行政医師等として実践経験を行います。

公衆衛生学研究科専門職学位課程にて公衆衛生学修士（MPH）、同博士後期課程にて公衆衛生学博士（DrPH）、医学研究科にて医学博士（PhD）の修得を目指します。MPHは1または2年間、DrPHは3年間、PhDは4年間は基本となります。

研修体制

- ◆ **研修施設**：帝京大学が研修基幹施設、帝京大学医学部附属病院と板橋区保健所が研修連携施設、保健センターや民間企業等が協力施設となり、研修を行います。
- ◆ **指導医**：帝京大学大学院の教員（10名）、保健所医師（1名）が指導医となり、専攻医の指導を行います。（統括責任者＝公衆衛生学研究科 教授 福田吉治、副統括責任者＝医学系研究科 教授 大久保孝義）



応募資格等

- ◆ 初期臨床研修修了および修了予定者
- ◆ 原則として、帝京大学大学院公衆衛生学研究科および医学研究科（社会保健医学分野公衆衛生医学主専攻）の大学院生を対象としますが、他の施設に所属の者でも、協力研究員や単位履修生等として、プログラムに登録することが可能です。
- ◆ 毎年4月からの開始を原則としますが、登録申請は随時受け付けます。

※研修連携施設や研修協力施設は増設予定

平成29年4月 研修プログラム開始